



演題

革新的抗体医薬品開発を目指した 抗体部位特異的修飾法の開発と応用



講師

伊東 祐二 先生

鹿児島大学大学院理工学研究科（理学系）
生命化学専攻 教授

要旨

抗体医薬品は、日米欧において、すでに70品目以上が認可され、ガンや自己免疫疾患を含む多くの疾患の治療薬として、その地位を確立している。我々は、抗体の分子標的機能を使った、更なる高機能性の革新的抗体医薬品の開発に向け、ヒトIgGのFc特異的結合ペプチドを使った部位特異的な抗体修飾法CCAP（Chemical Conjugation by Affinity Peptide）法を開発した。本講演では、その開発経緯とともに、医薬品開発に向けた本技術の応用として、ガンのPETイメージング診断のための放射性標識抗体プローブ、ガン治療に向けた新規抗体薬物複合体、さらには、抗体の脳移行を可能にする抗体コンジュゲート技術の開発について報告する。

ご略歴

1984年3月、九州大学薬学部卒。1990年3月、同大学院薬学研究科博士後期課程修了（博士（薬学））。

同大学助手の後、1997年4月、鹿児島大学工学部に助教授として異動。2003年、NCI -Frederick 短期客員研究員。2010年4月より現職。ファージディスプレイ技術を使った抗体、機能性ペプチドのデザイン研究に従事。H26-30年度AMED革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業「ヒトIgG 特異的修飾技術による多様な機能性抗体医薬の創出」研究代表者。

日時

2018年9月17日（火）

16:00～17:30 開場15:30

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 正田
電話：044-270-6579 メール：tsho@nihs.go.jp